

知
の
友

All About Japanese Incense

聞香炉を使って、香木のかおりを聞く



「ひとりで始めづらいけれど、だれかと一緒ならおもしろい。」香りに関するちよっとした興味を皆で深めてゆくプロジェクトです。今回のテーマは「聞香炉を使って、香木のかおりを聞く」。雪のちらほら残る二月某日、リラックスしたカフェに集まり始動です。そもそも聞香炉、香木って…？香木は、約千五百年にわたり日本人に愛されてきた天然の香り(詳細はP.11)で、それを本格的に焚くための香炉を「聞香炉」と呼びます。「聞く」には「感覚を働かせて識別する」という意味があり、香木の香りは「嗅ぐ」ではなく「聞く」と表現されるのが一般的です。香木の存在自体ご存じない方も多い上、自ら聞香炉で香木を焚く、という敷居が高いと思われるがちですが、適切な道具と基本的な知識さえ揃えば、誰にでも楽しんでいただけるもの。今回は自分で焚くのは初めてという方々に、自宅でも楽しめる方法で体験していただきました。

香木を焚くって難しいの？

実は自宅でも本格的に楽しめます

道具をそろえて灰を整え、

いざ聞香スタート

用意するものは七点。聞香炉、香炉灰、香灰団(聞香用の特別な灰と灰、銀葉、火道具三点、着火するもの(ライター等)、そして香木。香りを聞く場所はなるべく他の香りや風のないところ。時間はいつでも構いませんが、食前のほうがより香りを感じられます。今回使った香木は、沈香・白檀・黄熟香の三種類。簡単な香木の説明のあと、ひとりひとつずつ一から香炉を用意してもらいました。大まかな手順はまず、灰を入れた聞香炉に着火した灰団を入れます。完全に燃焼したら灰をかき上げ山型にし、山肌をなめらかに整えます。少しずつ灰と灰団をなじませていくことが大事です。山の中心に穴を開け火の通りをよくし、てっぺんに銀葉を配置。そこに小さくカットした香木のかげらをそっとのせ、準備完了。だんだん暖かくなっていく香炉に触れて、みなさんの心もほぐれていくよう。初めての香りにわくわくしながらいざ聞香のはじまりです！

Preparing Authentic Japanese Incense

The first theme of the Incense Project is "smelling *koboku* (see P.11) using *monkouro* (incense containers designed for this purpose)". It has been a significant part of our culture, but traditional incense nowadays is often considered within the realm of the elite. However, if you have a minimum range of tools and basic knowledge, it is possible for everybody to enjoy the relaxing natural aromas at home. Participants of the project were impressed with the warmth of the monkouro, changing notes from minute to minute, smells variant by each person depending on its temperature and positioning. Smell is also intimately interwoven with memory. For some it evoked a grandmother's wardrobe, mists, or foreign beers. For many it triggered unusual sensations and imaginings. And others enjoyed using not only their olfactory but also their visual senses to observe the tiny yet enchanting *koboku* chip. Kogado offers monthly events teaching the preparation of incenses and also providing the minimum of tools necessary to begin.



1 2 3
4 5 6
7 8 9

1 一隅に火をつけた炭団(たどん)を灰に入れ20分ほど置く 2 はじめに灰を入れる、みなさん真剣です 3 炭団に火が回ったら火着で灰をかきあげる
4 慣れない火着で灰の山をつくるつくる 5 灰押(はいおさえ)できれいな灰の山に 6 雲母でできた「銀葉(ぎんよう)」 7 銀葉挟で銀葉を山に水平に置く、
これ意外に緊張するのです 8 香炉を手でおおい香りを聞く、それぞれの香りの世界へ 9 そーっと4ミリ角型の香木のかけらをのせて完成!

1 2
3 4

1 左から沈香、黄熟香、白檀 2 リラックス
するおふたり 3 焚く前の白檀の香りに触れる
4 香炉のあたたかさ心地よい

普段とは違う感覚や想像力と
出会えてとても新鮮でした!

中路あやさん レーベルカフェトーキョー 店主
小引寛也さん 小石川設計事務所 建築士



体験した
場所はココ!



レーベルカフェ トーキョー【麻布十番】
隠れ家的な優しくゆったりとした店内で、丁寧に淹れた珈琲
や自家製スイーツ、野菜たっぷりランチを。「日本のモノづくり
衣・食・住」がテーマの商品を扱うレーベルショップも併設。
〒108-0073 東京都港区三田 1-11-49 レーベルビル1F
TEL 03-5444-6677 営業時間 9-17時 火曜定休
麻布十番駅 2番出口徒歩1分 www.label-creators.com

ほんの小さな香木のかけらに
秘めた力を感じて

「未知のようで既知である遠くの音に耳を澄ませる様な感じがした」という美術モデルの田中さんは、初めての香木の香りに、「霞の向こう」「おばあちゃんの筆筒のあまり開けないところ」「青と緑の粘土が混ざり合った光景」「外国のビール」など様々なイメージを持たれ、頭の中がぎゅんぎゅんと刺激で溢れたようでした。BLACK SIGN TOKYOの竹重さんは「香木の艶や温かみ、道具にも見とれてしまいました。嗅覚だけでなく、視覚でも楽しんでいただけただようです。また、香炉によって温度差が生じるため、同時に同じ香木を焚いても、それぞれ少しずつ香りが異なることが一同印象的な体験となりました。香炉を交換しゆっくりと聞き合い、「薬のようなほろ苦さ」「こっちはキャラメルみたいに甘くなってきた」「さっきよりやんちゃな香り!」「うちの子(香木)はまだこれから!」などと言いついてるうちに時間が経ち、経過した時間により銀葉の上で徐々に変化する香木の香りを最後まで感じる事ができました。日常の中にほんの一瞬でも雑事を忘れる非日常があるのは精神的に望ましいものですが、今回の非日常である香木の香りが、日常の一部になっていくのもまたよいものと思います。

次号は、「おいておくだけ」で、手軽に使える天然香原料のブレンド体験をご紹介します。お楽しみに。

同じ道具を使用して焚き方をまなべるワークショップ「聞香炉で香木を焚いてみよう」は香雅堂で毎月開催予定。聞香を楽しむための必要最低限の道具を一式にした聞香事始(もんかじはじ)も販売。

toki

ceramics for incense

香りのときを楽しむ



香

炬たきというと普段の生活とは関わりが薄い物と思われがちです。しかし実は、日々の暮らしでも和の香りを幅広く楽しめる道具としておすすめしたいのが、この香炉です。手軽なものなら、火を点けて立てるだけの「練香」。平安時代の貴族に好まれ、現在では茶道にて頻繁に使用される「練香」。それらの原料の一つとして使用される白檀をはじめとした「香木」。それら全て、香炉をひとつ持つことで楽しむことができます。ただ、一般的に販売されている香炉は、仏具として使用することや和室に飾ることを前提とした形・デザインの物が多く、日常使いをするには難しいと感じていました。そこで、香を扱う専門店として、デザインだけでなく「道具」としての機能性を十分に備えている、シンプルだけど質感のある開香炉を作ろう。和の香りを気軽にたのしんでもらえるよう、日常生活に取り入れやすい価格帯を実現しようと商品開発を始めました。

- | | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| | 3 |
| 4 | 5 |
- 1 布目四角ミニ香炉に練香
 - 2 粉引六角ミニ香炉に練香
 - 3 粉引開香炉に香木片
 - 4 天目六角ミニ香炉に白檀(角削)
 - 5 粉引八角置香炉に印香

こうして生まれたのが「現代の生活空間にとけ込み、和の香りによって、より多くの方の日々の暮らしに心地よい(時)が訪れるように」をコンセプトにした、新商品「toki」シリーズです。手の中にすっぽり収まるくらいの小サイズは、ちよつとしたスペースにインテリアとして置くことは勿論、外出先にも携帯して行きお香を焚く、という状況でも使いやすい大きさになっています。かなり小さめの香炉ですが、練香や香木を焚く為に熱した炭を中に入れても、熱くて持てないということはありません。デザインと機能性のバランスを厳密に考慮されています。質感は、粉引六角・天目六角・布目四角の三種類。六角は、六角形に成形した香炉の側面全てをへらで削ぐことで素地が見え隠れし、光の当たり方によって様々な表情を見せます。布目四角は布を押し当てることで香炉の表面を布目模様に凹ませて、その上に白い化粧土を埋め込んでいます。



「toki」すべて紙箱入り税抜価格

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | |
- 1 粉引六角ミニ香炉 ¥1,800
W65×D65×H55
 - 2 天目六角ミニ香炉 ¥1,800
W65×D65×H55
 - 3 布目四角ミニ香炉 ¥1,800
W50×D50×H55
 - 4 粉引聞香炉(薄茶・赤茶) 各 ¥3,600
W75×D75×H75
 - 5 粉引八角置香炉 ¥8,000
W100×D100×H80

「toki」シリーズの全ては、岐阜県土岐市で焼かれています。陶芸作家や大小様々な規模の窯元がひしめく歴史ある産地で、懇切丁寧な職人さんの手仕事でつくられています。中サイズ、「粉引聞香炉」は本紙企画「Incense project」で使用しているもの。手に持ってお香の香りをじっくりと楽しめるよう、重すぎず軽すぎず、手に馴染むような持ち心地と大きさを目指しました。これは最初のサンプルでは、質感の少ないのっぺりとした無表情なもので、アクセントを必要としていました。他のサンプルに真ん中に一本太い線が入っている香炉を発見。それはシンプルだけれど緊張感があり、心惹かれたので、そのデザインを白い香炉に施してもらおうようお願いしました。「これはね、素焼、化粧土をかけて焼成、透明釉をかけて焼成と三回窯で焼いているんだよ。そのあと細かい砥石がついた手袋をはめて手の上でこすりやっつてね、香炉をくるくる回して中心に入っている線の上下

のフチからさりげなく素地の色が見えるよう少しだけ表面を削ったんだ。」笑顔で作り方を教えてくださる職人さん。お願いしたとおり側面は五ミリの程の線がぐるりと入った二種類ある素地の色(赤茶・薄茶)がそれぞれ線のフチから少しだけ顔を出しています。香炉の足や内側の部分等、細部にわたり様々な工夫と工程をへて「粉引聞香炉」が完成しました。工房を訪れた際だぐさんの器の中から見つけたのが大サイズ「粉引八角置香炉」の原型となる、向付用の食器として作られた粉引の器でした。「このデザインを活かして置香炉の形にしてください。」そして、玄関や店舗入口など、人を迎える場所に置くのに最適な大きさ「粉引八角置香炉」ができたのです。長さのあるお線香や渦巻型のお香も焚くことができるので、長時間香りを漂わせていたいときにおすすめです。シンプルな見た目ながら手仕事の温もりが感じられる「toki」と共に、香りの時間を楽しみませんか。

A New Line of Ceramics for Incense

"Toki" ceramics feature five kinds of simple, modern and reasonable incense containers. Sizes vary from easily transported small containers fitting in the palm of your hand, to large ones affording various usages and decorative possibilities. A potter in Toki city, Gifu prefecture, the largest pottery-producing district in Japan, has created this line exclusively for Kogado in his small studio. You can enjoy many traditional Japanese incenses by selecting a favorite one from our range.



知っているようで
意外と知らない
「線香」のこと

線香は、和の香りを暮らしに採り入れるのに最も手軽な方法です。「線香」お供え用、「お香」お部屋用と思われるがちですが、「どちらか専用」というルールはありません。先入観により向き不向きはありますが、好みの香りであれば、どこでどれを使っていただいても大丈夫です。スティック香、インセンス、など色々な呼び方がありますが、ここでは「線香」とし、あらためて使い方などご紹介します。

△線香とは▽

仏教伝来とともに日本に入ってきた香。今ではお寺で線香が広く使われますが、当初は存在しませんでした。16世紀に日本に伝わり、その後堺でつくられたのが日本での線香のはじまりとされています。安定して燃えるため、かつては時間をはかるのにも利用されました。特にお寺・遊郭での使用が有名で、遊郭での線香を題材にした「たちきり」は古典落語の名作です。

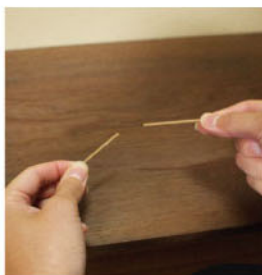
△線香の作り方▽

楠など香りのしない木の粉末に、香木や香原料（シナモン・クローブ・ウコンなど）の粉末やエッセンシャルオイル（精油）をまぜ、水分を加えて練り、線状に成形し乾燥させて作るものが一般的です。

△線香の使い方▽

香皿・香立や、灰を入れた香炉に線香をさし、ライター・マッチで着火し、炎を消します。一本では長い場合は、折って少しずつ使ってもOK。器には陶器やガラス・金属など不燃性のものをお手持ちの食器でも香皿として使用できます。灰を使う場合、燃えかすが溜まってきたらザルなどでふるってきれいにし、何度も使用できます。

香雅堂で扱うほとんどの線香の燃焼時間は30分前後。欲しいときにすぐその場を香らせることができ後にはあまり残りません。使う原料によって、香りは大きく異なります。香雅堂店舗では実際に焚いて試すこともできますので、お気に入りの香りをさがしてみてください。



つながり

ご縁を毎号ご紹介

松岡山 東慶寺 さん



上 手紙に添える「文香 花たより」
右上 悪縁を絶ち良縁を結ぶ「香入ストラップ ゆい姫」

丹念に手入れされた四季折々の花たちが訪問者を魅了する、北鎌倉の古刹・松岡山東慶寺さん。1285年の開山以来明治まで600年にわたり、不幸な女性を救う駆け込み寺として、格式高い尼寺として、文化・伝統を守ってこられました。井上ひさしさんの小説「東慶寺花だより」にも描かれ、今年1月には歌舞伎座で上演も。境内のショップに加え、昨年秋には門前に民家を改装した「東慶寺ギャラリー&ショップ」を新規オープン。1階には日本の工芸を中心にこだわりの商品が並び、2階には鎌倉彫や染色などの展示・イベントを行うギャラリーが併設されています。線香・文香など、香雅堂

の商品も両ショップにて扱っていただいています。また、坐禅・写経・茶道・香道・和紙などのお稽古やイベントを精力的に開催されており、毎月の体験香道や、毎年恒例の「式楽茶会」も盛況です。6月には、イワガラミ・イワタバコなどめずらしい花々も見どころ。紫陽花の咲き誇る季節、鎌倉観光に併せて、東慶寺さんで心豊かなひとときを過ごされてはいかがでしょうか。



松岡山 東慶寺 shokozan tokeiji
〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内1367
TEL 0467-33-5100 8:30-17:00 冬季11-2月 8:30-16:00
JR 横須賀線 北鎌倉駅徒歩4分 www.tokeiji.com

香木のこと 教えてください



What is Koboku?

Koboku literally means a tree which has fragrance. According to the founder of Kogado, an expert on Japanese incense, there are many trees in the world which have fragrance, but only three kinds which are considered *koboku* in our culture. It is said that under certain circumstances, *Jinko*, one of three, gathers resin when scratched. Over time, the gathered part becomes *koboku*, but the mysterious mechanism behind this transformation is not yet fully understood. It is because of this rareness and unparalleled fragrance that *Jinko* has been cherished for about 1,500 years by Japanese people including many samurais or aristocrats, despite the fact that this precious material cannot be found on Japanese soil. Usage of *koboku* varies from stick incenses, materials for sachets, religious offerings, and "incense ceremony", one of three major Japanese arts developed in 15th century along with tea and flower ceremonies. Immersing yourself in the special aroma emanating from the precious *koboku* will enable you to step outside of your daily routine and experience an extraordinary moment.



初回は、和の香りの文化に欠かすことのできない「香木」について、香雅堂店主が語ります。

Q 香木って何ですか？

杉や檜なども文字通り「香りのする木」と言えるかも知れませんが、日本固有の香文化の中で香木と呼ばれるのは、白檀・沈香・黄熟香の三種類です。しかし、いずれも昔から日本では基本的に産出しないので、インドや東南アジアからの輸入に頼っています。

香木は、飛鳥時代に仏教とともに大陸より日本に輸入されたと言われます。飛鳥時代には仏様にお供えする物として、平安時代には貴族が薫物（練香）を作る材料として珍重されました。室町時代には香道が発祥し、更にその用途に広がりを見せます。戦国時代には茶道具を争う戦があったように、大名同士の香木の取り合いもあったと言われています。時代を超えて常に人々の心を強く魅了し続ける不思議な存在です。

Q 何に使うんですか？

線香・匂袋・仏様に御供えする焼香の中身等として、様々な用途で意外と身近に使用されています。香木は主にその香りによって品質の善し悪しを判断されますが、中でも特に高品質なものは香道の世界で必需品として使用されます。

Q 香道って何ですか？

室町時代に発祥した、茶道・華道と並ぶ日本三大芸道のひとつです。香道は流派によって成り立つもので、考え方や稽古の内容なども流派によって異なります。一般的には「香木から放たれる香気を深く味わうこと」を目的とし、その手段の一つとして「十人程度で和室に集まり、香木の香りを聞き（嗅ぎ）分ける遊び（組香）をする」ということになるかと思えます。使用される香木の種類や分類の方法は、ある流派では白檀・沈香・黄熟香の

三種類全てを使いますが、ある流派では沈香しか使わないという風に様々です。しかし、沈香が最も重要視される香木であるということは、共通して言えると思います。

Q 沈香とは？

非常に特殊な存在です。ある特定の種類の木が何らかの理由で傷ついたときに、その部分を守ったり癒したりする為に樹脂のようなものをぎゅーっと集めることがあります。その部分だけが独特の香りを持ち、沈香という香木として使用されます。沈香は香炉を使用して適度な温度を与えることではじめてその香りを存分に発揮します。日常生活ではまず体感することが無い、それ故に言葉では表現し難い本心に心地よい香りを与えてくれる神秘的な存在です。火加減が適切であれば、僅か〇〇—gという少量でも、三十分はその香りを楽しむことが可能です。ただならぬ潜在能力を秘めています。

Q 山田さんにとって、香木とは？

大自然の叡智・天地の正気が形となって現れた、人智を超える存在。その小さなかけらに秘められた力を最大限に引き出すのが容易ではないだけに、得られる感慨は果てし無く深い。時空を超えた非日常のひと時を無心に過ごせる、かけがえない友です。

Who talks?

山田眞裕 masahiro yamada
株式会社 香雅堂 代表取締役

1950年京都御所西に江戸時代より続く香木・薫香原料の輸入卸元「山田松香木店」七代目の次男として生まれる。1983年東京都港区麻布十番に麻布 香雅堂を開業。以来、数少ない専門家として、香木を中心とする天然香料による香り文化の紹介・普及に努めると共に、香道具の製作プロデュース等を手掛ける。

NEWS & REPORT

香雅堂、リニューアル準備中!

2014年夏ごろのリニューアルに向けて、オリジナル商品・店舗&和室の改装・体験イベント・勉強会・工芸品の企画展示など新たな試みを進行中です。「和の香り」という大きな幹を中心に、より幅広い年代・ジャンルの方々が集う文化的な場所を目指します。詳細は決まり次第随時ウェブサイトでもお伝えします。どうぞお楽しみに。

外国の方に香り体験していただきました

香雅堂和室にて

イギリス人ご夫妻2組とフランス人写真家さんに、「ノルマンディーの祖母の部屋を思い出す香り」「克蘭ベリーをつんだ子供の頃を思い出す香り」など、香木の香りへの詩的な感想をいただきました。



オーストラリアにて

陶芸家や学生さんを含む11名に、40℃超で乾燥した環境は日本と全く異なるため上手く香るか案じましたが、少し高温で焚くことにより、いつも通りの香木の香りを楽しんでいただけました。



※正座が苦手な方には椅子をご用意しています。
英語での香り体験も行っていますので、お気軽にご相談ください。

記憶のなかの香り



lovely scent from Australia

BENDIGO ★



メルボルンの北西130kmの街・ベンディゴに住むあるフランス人女性は、益子でも活動する陶芸家。ご縁あってベンディゴの自宅を訪問した際に、このお手製香袋をいただきました。中の香りは、自庭で摘んだユーカリ・パーペナ・ラベンダー・タイム・フェイジョア・カレープラント・レモンピールなどのハーブ。現地の夏は、45℃を超える酷暑で乾燥し、それらは何も手を加えずともドライになります。日本の香りとはもちろん異なる、それでいて西洋のポプリともちがう、少しスパイシーで、生々しく甘美な果実のような独特の優しい香り。自然美しきベンディゴの思い出と結びつき記憶にきざまれています。

EVENTS SCHEDULE

香雅堂がかかわる今後のイベント情報をお知らせします

1 香道の入口をのぞく - 体験香席 -

室町時代から続く三大芸道の一つ・香道を体験いただけるイベントです。香道や香木の歴史等をわかりやすく説明したのち、季節に合った組香をいたします。香道が全く初めての方が対象です。

とき A 4/12(土)、5/24(土)、6/14(土) 10:10-12:00
B 4/23(水)、5/14(水)、6/25(水) 19:00-21:00
C 4/19(土) 10:00-12:00 英語で開催

定員 AB 各日12名 ところ 麻布十番 香雅堂2F
C 3名限定 参加費 3,000円



2 ワークショップ - 間香炉で香木を焚いてみよう -

飛鳥時代より珍重されてきた沈香・白檀などの香木。ご自宅でも簡単な方法で本格的な香木の香りを楽しんでいただけるように、一人ひとつ香炉を使いながら、実際に焚いていただけます。以前体験香席に参加された方にもおすすめ。

とき 4/16(水)、5/21(水)、6/18(水) ところ 麻布十番 香雅堂2F
19:00-20:30 参加費 3,000円

定員 各日6名



3 茶道の入口をのぞく - 薄茶席に入るために -

茶道の経験が全くない方でも、薄茶席に安心して入っていただけるよう、「お菓子の頂き方」「お茶の飲み方」「お道具の名称」などの基本を丁寧に教えます。先生は表千家のベテラン。気軽に質問いただける和やかな雰囲気です。

とき 5/19(月) 18:30-20:00 ところ 麻布十番 香雅堂2F
定員 6名 参加費 3,000円



4 香道体験で虫を愛でる心を聞く

香道御家流による「虫狩香」の香道体験と、料亭「錦水」の特別御膳で雅な世界をお楽しみいただけるひととき。香道・香木についての概要説明もごさいます。※写真はイメージですが同様の御膳をご用意します。

とき 5/23(金) 10:30-14:30
定員 50名
ところ 目白 ホテル椿山荘東京
参加費 7,000円
ご予約 椿山荘 03-3943-1140 (9:00-21:00)



1 2 3 のお申し込み・お問合せ ▶ 香雅堂 TEL 03-3452-0351 (10:00-19:00) 日・祝日休
より詳しい情報や、最新情報はウェブサイトにて順次おしらせします。 www.kogado.co.jp

ABOUT US

和の香りをもっと身近に感じていただけるように、繊細で奥深い日本独自の香りの文化を広く知っていただけるように—そんな想いから、香の伝統に新しい感覚と視点でアプローチする季刊ニュースレター「かおりの友」を創刊しました。

<次号のご案内> 涼しげな硝子でつくった夏向きの新商品をご紹介します。作家さんのインタビューや、硝子商品にも使える香りのブレンドプロジェクトレポート、夏休みイベントもご案内します。6月下旬発行予定。

We are happy to announce our first edition of "Kaori-no-tomo", Kogado's newsletter introducing Japanese traditional incense culture from a contemporary perspective. It will be published 4 times a year in Japanese with summarized English translations included. If you have any inquiries or requests feel free to contact mail@kogado.co.jp.



麻布 香雅堂は、京都の老舗薫香原料輸入卸元「山田松香木店」の七代目次男が、1983年に独立し麻布十番に構えた店舗です。

1F 日本三大芸道のひとつである香道や、飛鳥時代より親しまれている和の香りに関する商品を幅広くご紹介しています。
<取扱商品> 香木、香道具、工芸品、線香、香袋等



2F 和室では香道・茶道などの定期的なお稽古や、お香を中心として広く「和」にまつわるイベントを実施しています。ご要望に応じて個別開催も承りますのでお気軽にお問い合わせください。

その他最新情報はウェブサイトをご確認ください。
Visit our website for latest information.

香
麻布 香雅堂

KOGADO Co., Ltd. www.kogado.co.jp
TEL 03-3452-0351 FAX 03-3452-0661

3-3-5 Azabu-juban, Minato-ku, Tokyo 106-0045, Japan
open 10:00-19:00 closed on Sundays & national holidays



東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線「麻布十番駅」
1番出口より徒歩1分
one minute walk from Azabu-juban Station Exit 1
(Namboku or Oedo Line)